



## いちよう

山形市立第四小学校  
校長 鈴木一尋  
<児童数 210名>

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

## 学校評価アンケート結果

今年度の学校経営について、保護者・児童・教職員に行ったアンケートの結果および今後の方針についてお知らせいたします。

項目		児童		保護者		教職員		
		30年度	元年度	30年度	元年度	30年度	元年度	
確かな学力	学 習	確かな学力	◎	◎	◎	◎	◎	
		聞く・話す	○	◎	○	○	◎	◎
	行 事	行事への取組	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		クラス・班での取組	◎	◎	◎	◎	◎	○
		外部人材・豊かな経験	◎	○	◎	○	◎	○
豊かな心	挨拶、言葉づかい		○	◎	○	○	○	
	対人関係(相手の気持ちを考え行動 等)		◎	◎	◎	○	◎	◎
	適切な相談・指導		◎	◎	○	◎	○	◎
	いじめ・体罰の早期発見		○	○	○	○	○	◎
健やかな体	登下校の安全(交通安全、不審者への対応等)		◎	◎	◎	◎	◎	△
	保健・食育		○	◎	○	◎	○	△
	運動・体力(進んで運動し体力をつける)		○	◎	○	○	△	△
	生活習慣・早寝早起き朝ごはん		○	○	○	○	○	○
連携その他	テレビ・ゲーム等家庭との連携		○	◎	△	◎	△	△
	学習習慣の確立のための家庭との連携		◎	○	○	○	○	○
	学校からの情報提供		○	◎	◎	◎	◎	◎
	楽しい学校		◎	◎	◎	◎	◎	△

※「よくあてはまる」「ややあてはまる」が、90%以上で◎ 70%以上で○ それ以外△  
※平成30年度より令和元年度の数値が上がった項目の記号に網掛けをしています。

## 児童アンケートに対する対応

「確かな学力」の三大多行事およびクラス活動については、どの子どもも発達段階に応じた問題解決のある活動を積み重ねていく中で、「主体性」や「自分らしさ」を育ていけるよう努めていきます。

「豊かな心」では、互いにかかわ合う中で、自他のよさを感じる子どもの声が、アンケートの高評価につながっています。「良友は心に痛し」の言葉を受け止め、さらに「真・善・美」を求め続ける子どもが育つよう努めていきます。

「健やかな体」の登下校の安全については、現在、第四学区の交通指導員さんが定員に満たない状況が続いています。「自らのいのちは、自ら守る」の姿勢をもち、安全に登校する術を確実に身に付け実践することができるよう努めていきます。

## 1 保護者アンケートより

### (1) 各項目における評価の結果

「確かな学力」の項目では、「確かな学力」や「外部人材・豊かな経験」に大きな要望と期待が寄せられています。来年度は、新学習指導要領が完全実施となります。各教科等の本質に迫る単元づくりを通して、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を展開していきます。

「豊かな心」の項目では、「対人関係」についての評価が前年度よりも低くなっています。挨拶や言葉遣い、友達とのトラブルを未然に回避するための折り合いの付け方等も含めて、他者とのよりよいかかわり方について学ぶ場を意図的・計画的に設けていきます。

「健やかな体」の項目では、昨年度同様、生活習慣の構築やメディアとの付き合い方についての評価が低くなりました。改善に至らない状態に長くあることで起こる不具合を理解し、具体的な対応の仕方を身に付ける学習に力を入れていきます。

### (2) 四小の教育でさらに期待すること

①思いやりの心 20.3%	③基礎的な学力 17.8%	②いのちの教育 15.6%
---------------	---------------	---------------

### (3) 保護者の自由記述より（主なものを集約）

- 年生としてどうすべきか真剣に取り組む姿に成長を感じています。
- 失敗すること、そこから学ぶことをとても丁寧に指導して下さい、ありがとうございます。
- 担任の先生には、本当によく接していただき、また、ご指導いただき、感謝しています。
- 奨学会行事等も、先生方や役員の方々のお力でとてもよく運営されていると感じます。
- 自分から進んで行動することやしっかり話をきくことは、とても大事だと伝えていきたい。
- 我が子が、先生方や周りの友だちにご迷惑をかけていないか心配です。
- 最近、人間関係で嫌なことがあったと訴えることが増え、心配しています。
- 最近、言葉づかいが悪くなったことが気になります。
- 多感な年頃になってきたので、ますます組織的にご対応いただけるとありがたいです。
- 宿題に取り掛かるのが遅く、毎日の悩みとなっています。
- 学校のルールをもう一度子どもたちに確認させてほしいです。

## 2 今後の対応について

今週予定されている学校評議委員会で各委員の皆様にもご意見をいただきながら、アンケート結果を来年度の教育課程に反映していきます。

以下、来年度を待たず、今から対応できることについて記載しました。

### (1) 「確かな学力」が身につくように、既習を使い、学びを広め深める授業を行います。

学びを広め深めるポイントは、子ども自身が、「これを使うぞ!」「これが使えそうだ!」と、既習を自覚して使うことです。そのような姿が表れる授業を積み重ねていきます。

### (2) 1年間を締め括る三学期の適時性を生かし、互いに高まり合う人間関係を築いていきます。

学年・学級・クルーズ班等がもつ集団特性を生かして目的や立場を明確にし、自らの生活をよりよくするための判断力や行動力に磨きをかけていきます。「良友は心に痛し」

### (3) 奨学会生活文化部とタイアップし、メディアとの付き合い方について研修する場を設けます。

2月18日(火) 14:30~15:30 本校ぎんなん広場 ※案内済

子育て講演会 演題 「インターネットに潜む危険 ~子どもを加害者・被害者にならないために~」  
講師 山形警察署生活安全課 上席少年補導専門員 金沢 愛 氏

**ご協力をいただき、ありがとうございました。**

**今後も、心配なことがあれば、何でも（担任、教頭に）ご相談ください。**